

とガン検診を実施いたしました。特定健診には百三十四名の方が、ガン検診には、延べ三百七十四名の方が受診されました。

▽農業関係

●水稲は、春先から好天に恵まれ、播種移植作業は平年より四、五日早く実施されましたが、六月の分けつ期には日照時間が平年より少なく、七月下旬にも日照不足となったことで出穂が少し遅れました。しかし、七月から八月にかけて気温が高めに推移したことで生育は回復傾向にあり、今は成熟期を迎えほぼ順調に推移しているところがあります。

教育行政報告

▽教育行政関係

●七月九日、第五十二回北海道市町村教育委員研修会が開催され、教育委員全員が参加しました。

▽小・中学校関係

●七月三日、石狩管内中学校文化連盟主催の音楽発表会が千歳市にて行われ、新中音楽部の生徒によるマリンパ演奏が多くの観衆の前で発表されました。

●七月十日・十一日の両日、石狩管内中学校体育大会が開催され、本校からは野球、バドミントン、卓球の三競技に出場いたしました。

野球においては、本年、新篠津村が開村百二十年を迎えることから、新篠

▽建設工事関係

●六月中旬に発注しました村道舗装工事の四路線は、ともに八月末に完成し、また、七月中旬に発注しました橋梁長寿命化補修工事の四橋は、共に十二月中旬完成予定となっております。また、八月以降発注の工事関係では、橋梁改修工事一橋と、道路の段差を解消する村道維持補修工事のほか、各施設の営繕工事などを予定しており順調に進捗しております。

教育長 蜂屋 寿雄

津村をメイン会場として開催され、多くの観衆のもと子供たちは日頃の練習の成果を遺憾なく発揮しました。

中体連の結果は、野球は一回戦敗退、バドミントンも上位に駒を進めることができなく予選敗退しましたが、卓球女子シングルと男子水泳一〇〇リ自由形で、それぞれ一名が全道大会に出場しました。

●七月二十九日、少年の主張石狩地区大会が札幌市において開催され、本校を代表して、中学三年の妙護寺志歩さんが「ふるさと」と題し、祖父の故郷を訪れた体験談を通して、親や先生への感謝などを発表いたしました。

▽社会教育関係

●七月二十八日から二泊三日の日程で、様似町において、六年生男女十九名、高校生リーダー二名が参加して、キャンプワーク事業を実施いたしました。

この事業の中には、アポイ岳登山を体験させる事業もあり、暑さと足の痛みに耐えて頂上にたどり着き、自らすすんだ手作りの「おにぎり」のおいしさと、貴重だった水のことは、一生、忘れることの出来ない貴重な思い出になったことと思います。

●八月四日から二泊三日で、湧別町(旧上湧別町)との少年・少女友好都市交流キャンプ事業を、湧別町において実施いたしました。

本村から五年生十七名と、湧別町からは、五・六年生十二名が参加し、野外活動などを、教育委員会職員が指導いたしました。

この事業には、本村から高校生リーダー一名と湧別町から中・高校生リーダー八名も参加し、異年齢とのふれあいも高めることができました。

●のびのびプールの一般開放は、七月五日から九月六日の延べ五十七日間開館し、二千六百七十七名、一日平均約三十八名の利用がありました。

九月四日には、第三十一回村民水泳大会を実施し、小学一年生から大人まで二十六名の参加があり、三個の大会新記録が誕生いたしました。

▽開村百二十年記念事業

●古老の声「百二十話物語」を発行し、九月一日の記念式典の際に参加者らに配布いたしました。

●村文化協会では、村民句集「ななかまど」を発刊いたしました。小学生から大人まで広く村民から俳句・短歌などを募集し、村の歴史や故郷への想いを詠った作品が掲載されております。

●村ソフトボール協会主催により、七月十八日、ソフトボール大会が開催されました。大会には、自治区、職域、愛好団体など十チームが参加し、親睦を深めました。

●八月三日、映画「じんじん」上映実行委員会主催により、「じんじん」上映会と企画・主演の大地康雄さんによるトークショーが開催され、四百二十名の来場をいただきました。

●本村に窯(混沌窯)を持つ陶芸家・尾形香三夫さんと本村出身の日本画家・蒼野甘夏さんによる『陶芸と日本画の「共宴」』を八月二十一日から二十三日まで三日間の日程で開催し、五百二十二名の来場をいただきました。

●村陸上競技協会主催により、九月五日、第四十八回村内一周駅伝競走大会が開催され、十三チームが出場しました。

最終五区では、先頭と二位の抜きつ抜かれつのデッドヒートが展開されましたが、第二・中央Aチームが四連覇を成し遂げました。